

一之宮貫前神社

上野國一之宮 旧國幣中社



<http://www.nukisaki.or.jp>
kan-shamusho@nukisaki.or.jp

◆交通案内

(車で) 上信越自動車道・富岡インターより車で約20分
下仁田インターより車で約20分
(列車で) 高崎駅より上信電鉄乗り換え
上州一ノ宮駅下車 徒歩約15分

◆宝物館案内

開館時間 午前10時～午後3時

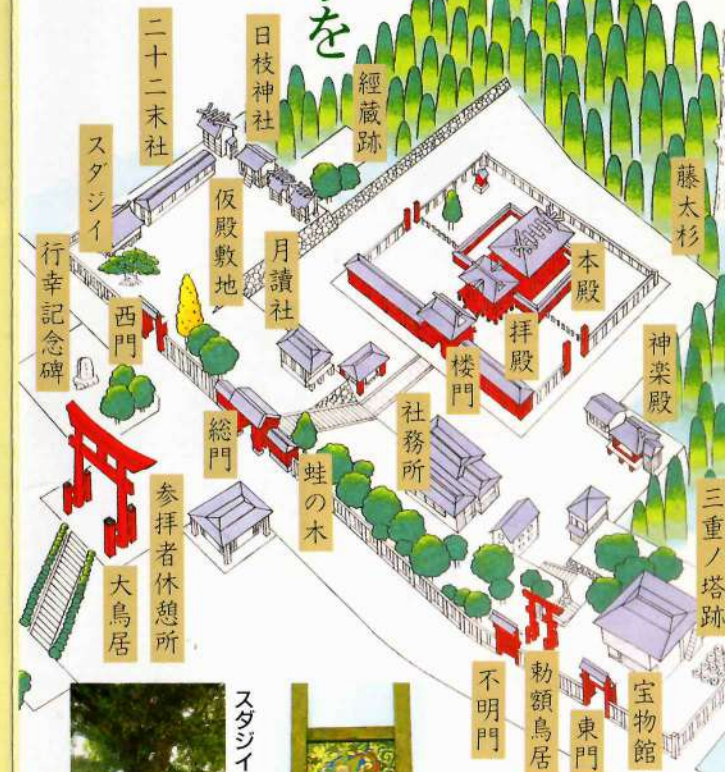
入館料	個人	団体 (20名以上)
大人	300円	150円
高校生以下	100円	50円



◆近郊の観光

(富岡市)
群馬県立自然史博物館
富岡市立美術博物館
富岡市立岡部温故館
旧官営富岡製糸場
旧茂木家住宅・丹生湖
群馬サファリワールド
(甘楽町)
城下町小幡
(妙義町)
妙義山・妙義神社
(高崎市)
観音山・白衣観音
(下仁田町)
神津牧場・中之嶽神社
荒船山

千余年の
信仰と神事を
伝える
歴史の杜。



蛙の木



雷神小窓



無事蛙



太々神楽

一之宮貫前神社社務所

〒370-2452 群馬県富岡市一ノ宮1535
電話 0274(62)2009

由緒

御創建は社伝によりますと、碓氷郡東横野村鷺宮に物部姓磯部氏が奉斎し、次いで南方鐫川岸に至り、蓬ヶ丘綾女谷にお祀りしたのが安閑天皇元年(五三二)三月十五日と伝えています。

天武天皇白鳳二年(六七四)三月十五日に初度の奉幣があり、醍醐天皇の延喜の制には名神大社に列せられ、上野國一之宮として朝廷や民間の崇敬を衆め、明治四年國幣中社に列格されましたが、終戦にともなう社格制度の廃止により、一之宮貫前神社と称し現在に至っております。現在の社殿は、徳川三代將軍家光公の命により寛永十二年(一六三三)の御造営で、江戸初期の華麗な造りで、特に本殿、拝殿、楼門は国の重要文化財に指定されています。

御祭神

経津主神

姫大神

経津主神は物部の氏神で、天照大神の命を受け武甕槌神と共に出雲國の大國主神より天孫のために国土を奉らしめた神で、古来より武の神、建国の祖神として信仰されています。姫大神は御名は不祥ですがおそらく綾女庄(一之宮地方の古称)の神で養蚕機織の守護神と考えられています。



御神事

祭典は年間七一度あります。

例大祭 三月十五日
月次祭 毎月一日
御戸開祭 三月十四日
鹿占神事 十二月十二日
式年遷宮 十二年毎
仮殿遷座祭 申年の十二月十二日
本殿遷座祭 酉年の三月十三日



御戸開祭 — 不明門を出る行列。



◆宝物館(有料)

貫前神社では四〇〇点余の宝物を所蔵し、その一部を宝物館にて展示しています。なかでも奈良時代以後の鏡一六七面が奉納され、「白銅月宮鑑」「朱雀文様鏡」「竹虎文様鏡」は国指定重要文化財に、その他は富岡市重要文化財に指定されています。



◆全国的にも珍しい、登って下る参道。
◆雷神小窓 元禄十一年二月の本殿修復の節に江戸桜田の絵師堀川政利が描いたもので、幾つかの伝説を生み信仰の対象となっています。
◆蛙の木 太平洋戦争末期、境内の樹木に蛙の形をした葎(サルノコシカケ)が出たのを「勝ち蛙」と呼び多くの参拝者がありました。現在は「無事蛙」と呼ばれ交通安全のお守りになっています。
◆太々神楽 縁由詳かではありませんが、往古出雲大社の社家より二十四座が伝承されたと伝えられています。
奉納日 元旦・三月十五日